

脳卒中片麻痺患者様の歩行練習に使用する下肢装具の適応の検討に関する研究

1. 研究の対象

本学付属病院にリハビリテーションを目的として、過去に入院していた初発の脳卒中片麻痺患者の方。性別は問わない。

2. 研究目的・方法

脳卒中ガイドライン 2015 では、①脳卒中患者の歩行能力の改善のために歩行訓練等の下肢の訓練量を増やすことが推奨されている。②脳卒中患者の歩行障害に対して下肢装具を使用することで、歩行能力の改善が得られるため、その使用を推奨されている。したがって、下肢装具を使用し、歩行訓練を積極的に行うことが脳卒中の歩行能力の改善に有効であると考えられる。しかし、下肢装具には多様な種類があり、どのような患者にどのような下肢装具を使用した歩行練習をすると歩行能力が改善するかは不明である。本研究の目的は脳卒中片麻痺患者への下肢装具の種類の適応を、退院時の歩行能力から、後方視的に検討することである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：神経学的検査、神経心理学的検査、運動機能検査、ADL 検査、歩行能力、使用した下肢装具等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

茨城県稲敷郡阿見町阿見 4733 茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション部 理学療法科

TEL：029-888-9216（PT 科直通）

E-mail：wakatabim@ami.ipu.ac.jp

研究責任者：理学療法士 若旅 正弘